

## 2025 年度 全学共通科目に関する自己点検・評価結果

教育支援・国際交流推進機構 教養教育センター

「鳥取大学における内部質保証に関する規則」及び「鳥取大学における教育の内部質保証に関する要項」第6条・第8条に基づき、鳥取大学の教育課程における全学共通科目について、第3回の自己点検・評価を実施した。以下、その概要を報告する。

### 1. 点検対象

全学共通科目の運営体制を踏まえ、①教育課程の編成（修得単位の総数・科目内訳・学年配分など）については学部・学科（専攻）、②授業科目の開設（開設科目の総数・担当教員・受入定員・曜日時限など）については、「教養科目」（基幹・主題科目）を担当する17の「教科集団」、及び主に「入門科目」・「外国語」・「健康スポーツ科学実技」を担当する学部・学科、各種センター等（情報戦略機構、キャリアセンター、データサイエンス教育センター、教養教育センター）、③企画・運営全般については、鳥取地区を担当する教養教育センター、及び米子地区を担当する「医学教育総合センター」、以上をそれぞれ自己点検・評価の対象として取り上げた。

### 2. 点検項目

自己点検作業は、3種の点検対象（①学部等、②教科集団等、③教養教育センター・医学教育総合センター）に対応する3種の「自己点検シート」にしたがって実施した。自己点検シートは、上位の「区分」と下位の「点検項目」から構成し、上位の「区分」（様式①：5区分、様式②：7区分、様式③：9区分）については、点検対象の役割を考慮して差別化を図るとともに、「教育目標」、「体系性・多様性」、「開設計画」、「シラバス・学修支援」、「成績評価」、「人員配置」など、基本的な事項については可能な限り統一的に盛り込んだ。

### 3. 点検方法

作業は、①各点検対象による自己点検、②教養教育センターによる集計作業、の2段階で進めた。

まず各点検対象においては、点検シートの点検項目に対して、①概ね肯定、②部分肯定・部分否定、③概ね否定、の3つの選択肢から該当するものにチェックし、必要に応じて「備考」欄にその理由を記載しながら、点検作業を行った。また点検項目以外の問題についても、自由記述により意見を聴取した。なお長期的な制度・体制に関する項目など、毎回の点検が不要な区分は一律に対象から除外してある。また点検項目は様々な点検対象を想定して作成したため、点検対象の特性から該当しない項目は回答不要とした。

次に教養教育センターにおいて、各点検対象の点検結果について、区分・点検項目ごとに、①概ね肯定、②部分肯定・部分否定、③概ね否定の総数を集計した。

点検対象一覧

点検内容	点検対象（内訳）	
課程編成	学部 学科 専攻	①地域学部 ②医学部：医学科、生命科学科、保健学科（看護）、同（検査） ③工学部：機械物理、電気情報、化学バイオ、社会システム土木 ④農学部：生命環境農学、共同獣医 ※地域学部は学部単位、医学部は専攻単位、工・農学部は学科単位
科目開設	教科 集団	①哲学・倫理学・現代思想 ②教育学 ③心理学 ④臨床心理学 ⑤芸術・芸術学 ⑥文学・言語学 ⑦法学・政治学・社会学 ⑧経済学・経営学 ⑨歴史学・地理学 ⑩数学・統計学 ⑪物理学 ⑫化学 ⑬生物学 ⑭地学 ⑮情報科学（情報戦略機構） ⑯外国語（外国語部門） ⑰健康スポーツ科学（健康スポーツ部門）
	関係 組織	⑱DS教育センター ⑲キャリアセンター ⑳教養教育センター（共通教育部門） ㉑学部・学科・専攻
企画 運営	鳥取 米子	①教育支援・国際交流推進機構 教養教育センター ②医学部 医学教育総合センター

表中の「部門」は教養教育センターの下部組織を示す。

4. 点検・集計結果

各点検対象の点検作業、及びセンターの集計作業の結果は下表の通りである。

参考情報として前回の点検結果を R5、今回の点検結果を R7 として示す。

なお表中の略号は下記の通りであり、数値は該当する点検対象の総数を指す。

○：概ね肯定、△：部分肯定・部分否定、※：概ね否定、－：対象外

① 様式1：教育プログラムの点検項目（計11プログラム）

	区分	点検項目	○		△		※		－	
			R5	R7	R5	R7	R5	R7	R5	R7
2	体系性	①授業内容の適切さ。	9	11	0	0	0	0	2	0
		②キャンパス間の質的一元性(医・獣)	0	0	0	0	4	4	7	7
3	教育課程	①卒業に必要な単位数	11	11	0	0	0	0	0	0
		②科目区分間の履修単位のバランス	11	11	0	0	0	0	0	0
		③学年・学期の履修単位のバランス	11	11	0	0	0	0	0	0
		④曜日・時限の配当科目のバランス	10	10	1	1	0	0	0	0
4	履修指導	①教養教育の意義・履修方法の指導	10	11	0	0	0	0	1	0
		②抽選科目への対処方法の指導	10	11	0	0	0	0	1	0
5	担当教員	科目担当を考慮した採用・昇任	11	10	0	1	0	0	0	0
計			83	86	1	2	4	4	11	7

② 様式2：教科集団・各種センター等の点検項目

a) 教科集団・各種センター（計20組織）

	区分	点検項目	○		△		※		－	
			R5	R7	R5	R7	R5	R7	R5	R7
1	教育目標	DP・CPに対応した開設・運用	19	20	0	0	0	0	1	0
2	体系性	①開設科目・担当教員の組織的選定	18	18	1	1	0	1	1	0
		②前回点検以降の科目精選	15	16	2	0	0	3	3	1
		③DP能力配点表の組織的な作成	15	15	2	2	3	3	0	0
		④同一名称の科目の質的な共通化	5	8	7	5	1	2	7	5
3	多様性	①文理融合的な授業科目の開設	6	5	6	8	3	4	5	3
		②能動的学修の授業科目の開設	6	10	12	9	1	1	1	0
4	シラバス	①到達目標における達成水準の明示	19	18	1	2	0	0	0	0
		②シラバス記載内容のチェック体制	16	15	3	4	1	1	0	0
5	開設計画	①抽選結果に基づく開設計画の作成	14	14	2	2	1	2	3	2
		②抽選科目のクラス総数・受入定員	13	13	3	3	1	1	3	3
		③指定クラスの開設総数・受入定員	11	13	2	1	0	0	7	6
6	成績評価	授業科目の適正な成績評価	16	17	3	3	1	0	0	0
7	教科集団の編成	①教科集団の適正な教員編成	19	16	1	2	0	0	0	2
		②必要な教員の配置	15	12	4	4	1	2	0	2
		③授業科目の適正な分担	16	12	3	5	0	0	1	3
計			223	222	52	51	13	20	33	27

b) 学部・学科（入門科目：大学入門ゼミ）（計 11 プログラム）

	区分	点検項目	○		△		※		－	
			R5	R7	R5	R7	R5	R7	R5	R7
1	教育目標	DP・CP に対応した開設・運用	11	11	0	0	0	0	0	0
4	シラバス	①到達目標における達成水準の明示	11	11	0	0	0	0	0	0
		②シラバス記載内容のチェック体制	6	7	1	0	4	4	0	0
5	開設計画	③指定クラスの開設総数・受入定員	11	11	0	0	0	0	0	0
6	成績評価	授業科目の適正な成績評価	5	5	0	0	0	0	6	6
計			44	45	1	0	4	4	6	6

③ 様式 3：管理・運営組織の点検項目（計 2 センター）

	区分	点検項目	○	△	※	－
1	教育目標	DP を踏まえた教育目標の策定・公表	2	0	0	0
2	体系性	①前回点検以降における開設科目の精選	1	0	0	1
		②鳥取・米子地区における質的一元化	1	0	0	1
		③科目ナンバリングの整備・公表	2	0	0	0
3	多様性	①社会の多様性に対応した科目の開設	2	0	0	0
		②学生の多様性に対応した科目の開設	1	0	0	1
4	開設計画	①教科集団に対する抽選結果の迅速な開示	1	0	0	1
		②抽選科目におけるクラス総数・受入定員	1	1	0	0
		③指定クラスにおける開設総数・受入定員	2	0	0	0
5	履修支援	①履修手引の作成・公表	2	0	0	0
		②履修ガイダンス・履修相談の実施	2	0	0	0
6	学修支援	①必要な講義室・座席数の確保	0	2	0	0
		②必要な体育施設・運動場の確保	1	1	0	0
		③必要な機材・設備等の確保	2	0	0	0
		④必要な学習スペースの確保	1	1	0	0
		⑤附属図書館における参考図書の整備	1	1	0	0
7	成績評価	①規定の基準に基づく成績評価の検証	1	0	0	1
		②成績の疑義申立制度の整備・運用	2	0	0	0
		③不正行為への対応方法の整備・運用	2	0	0	0
8	学修成果	①授業アンケート結果の集計・分析	1	0	0	1
		②授業アンケート以外の調査の実施	1	0	0	1
9	組織編成	企画・運営に必要な部門・教員の配置	0	2	0	0
計			29	8	0	7

医学教育総合センターは今回から点検対象としたため、R7 の数値のみ示す。